

# 会報 太陽の会

## お大師様の「ことば」(第46回)

「人生の苦しみ」の克服が仏教の出発点  
 く生きる苦しみ、死の恐怖、老いることへの憂い、  
 病気の苦痛、貧乏の苦しみ、財産がある故の苦  
 しみなどの八苦や、地獄・餓鬼・畜生の三悪道  
 をさまよう苦しみに、私達は責められている。  
 天上の世界でさえ安らかでないのだから、人間  
 の世界が苦しみに満ちているのは当然である。

『平城天皇灌頂文』

### ●人生は苦しみから逃れられない

大変な苦勞をすることを「四苦八苦」とい  
 いますが、これは、もともと仏教用語から来て  
 います。四苦とは生老病死、すなわち「生まれ  
 ること・老いること・病気になること・死ぬこと」  
 をいう、四つの人間の根源的な苦しみをあらわ  
 して、仏教では、この四苦を人間の本源の  
 な苦しみであると位置づけているのです。

「この四苦に、愛別離苦(あいべつりく)・  
 怨憎会苦(おんぞうえく)・求不得苦(ぐ  
 ふとつく)・五陰盛苦(ごうんじょうく)の



四つを加えて八苦と言います。

愛別離苦(あいべつりく)とは愛する者と別れ  
 る苦しみ、怨憎会苦(おんぞうえく)とは怨み憎んで  
 いる者と会う苦しみ、求不得苦(ぐふとつく)と  
 は求めても得ることができない苦しみ、五陰盛  
 苦(ごうんじょうく)とは五陰人間を形づくる  
 肉体と精神の総称)にあらゆる苦悩を受けるこ  
 と。どんな運命のもとに生まれようとも、四苦  
 八苦の苦しみから逃れることはできません。

### ●なぜ仏教は「当たり前」のことを説くのか

仏教には様々な宗派がありますが、お釈迦  
 様以来、仏教が連綿と説いてきたのは、人々が  
 そうした現世の根源的な苦しみを受  
 け入れ、乗り越えるにはどうするべき  
 かということです。仏教の教えは難し  
 いのではないかと思っている人もいるか  
 もしれませんが、その中身は意外に当たり前前  
 の事が説かれています。



例えば「四摂事」の教えです。四摂事とは、  
 人々を救う四つの徳という意味ですが、それは  
 布施(施しをあたえること)・愛語(慈悲のこも

た言葉)・利行(他人のためになる行為)・同事  
 (他人と協力すること)をいいます。

また、「八正道」という教えもあります。これ  
 は八つの正しい実践徳目のことです。正見(正し  
 い見解)・正思(正しい思い)・正語(正しい言葉)・  
 正業(正しい行ない)・正命(正しい生活)・正精  
 進(正しい努力)・正念(正しい心の落ち着き)・  
 正定(正しい精神統一)で、いわれてみれば、す  
 べて当たり前前のことです。

仏教は、そうした簡単にできそうな正しいこ  
 とを、現実の日常生活の中で実践していくこと  
 によって、四苦八苦の苦しみを乗り越えられる  
 と説いてきたのです。古代中国の『易経』には、  
 「積善の家には余慶あり」とありま  
 す。「善行を積んだ家には余るほど  
 の慶びが訪れる」というのです。



仏さまを信じて一生懸命祈り、日々、世のた  
 め人の為、仏さまの教えに則った正しい生活を  
 していれば、喜びがもたらされ、ストレスのない  
 「安心」の境地が得られるのです。

空海のことば(池口恵観書より)

## 高天原法要のご報告

お盆迎えの八月十三日(水)、お彼岸中日秋分日の九月二十三日(火)、太陽の塔高天原で、ご先祖・ご家族のご供養を執り行いました



盂蘭盆会  
午前：浄土真宗



盂蘭盆会  
午後：真言宗



秋彼岸

午前：浄土真宗



秋彼岸

午後：真言宗



両日とも、たいへん暑い一日でありましたが、足をお運びいただきました皆様、お参りありがとうございました。



## 供養祭中止のお知らせ

令和7年後期に開催を予定しておりました北海道太陽霊園、海田太陽霊園、金甲山太陽霊園での合同供養祭につきまして、諸事情により中止とさせていただきます。

毎年楽しみにお持ち頂いていた皆様には大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。

来年の開催予定が決まりましたら、次号の会報(令和8年3月1日発行予定等)でお知らせいたします。

## もちつき大会のご案内

去年に引き続き今年も、もちつき大会を開催することになりました。

持ち帰り用のお餅やその場で食べて頂くおもち等をご用意します。

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。お待ちしております。

開催日 令和7年12月20日(土)

開催場所 太陽の塔高天原

開始時間 10時



## 「彼岸」四方山(よもや)話



今回は、お彼岸に關してお話です。

私たちは、春分・秋分の日前後3日を加えた7日間のことを「お彼岸」と呼んでいます。す、お彼岸週間ですね。春分・秋分の日は大陽の動きを天文台が調べて、その年ごとに決定するので、毎年必ず決まった日にちというわけではないんです。微調整が必要な閏年(うるうどし)みたいな感じです。ちなみに今年の秋のお彼岸は九月二十二日、来年の春のお彼岸は三月二十日です。

お彼岸と言って思い浮かべるのは、先祖供養などのお墓参りではないでしょうか。実は、お彼岸が仏教行事の期間とされているのは日本だけなんです。仏教の生まれたインドにも、仏教を伝えた中国にもありません。お彼岸は日本独自の習慣、文化になるんですね。



彼岸とは、彼(か)の岸と書き、あちら側の世界。何のあちら側かという三途の川の向こう側、冥土の世界のことです。苦しみのない安らかな悟りの世界です。私たちの今生きているこちら側は此(こ)岸、生老病死や悩みや欲で四苦八苦の世界です。

彼岸に渡る、とか彼岸に至る、なんていう言葉がありますが、これは、欲をなくし心の乱れない悟りの世界へ行くこと、つまり悟りの境地を得る、悟るということです。彼岸に至る(悟りを得る)ことを、インドの言葉で「パーラミター」と云うんですが、漢字にすると「波羅蜜多」(はらみつた)この漢字は原語の音写で意味はないんですけど、「はらみつた」は般若心経にも登場しますね。先程日本独自の風習といいましたが、何もないところから墓参りの日としたわけではなく、仏教との繋がりの中で生まれてきたのがお彼岸なんです。



春分秋分の日、太陽は真東から昇り真西へ沈みます。これを日本人は特別な事ととらえたんです。仏教が伝わる以前から、自然や太陽、ご先祖を敬う気持ちを備える日本人の心と、仏教への信仰心が重なって生まれた文化がお彼岸です。

太陽の沈む西には、あの有名な「西方極楽浄土」がありますよね、又、春分秋分の日には昼夜が大体同じ長さになります、ということ、あちら側とこちら側、あの世とこの世が接近するんじゃないか、近くなってるんじゃないか、だから墓参りに行くう！と考えたわけです。

同じ先祖供養でも、お盆とお彼岸では意味合いが違います。お盆はご先祖が帰ってきてくれるイメージをお持ちだと思っんですが、お彼岸は、私たちが歩み寄り、思いをさせて手を合わせるといった感覚でしょうか。

一年に二回しかない特別な日に、悟りの世界にいるご先祖(思いをはせる彼岸の時。私たちもいづれ必ず向かう場所であるあちら側は、こちらから何も持つて行くことはできません。財産・地位・名誉、今私たちが大切だと思ひ執着しているものは、何一つ持つていきませんし、必要でもなさそうです。しかし、今いる世界での善い行いによる功德は大きな力になってくれそうです。

お墓参りというのは、心を素直にさせてくれるものです。自分と向き合い、振り返り、今の在り方をしつかり考えようよ、欲ばかりの自分になっていませんか？努力を惜しまず、我慢も必要、足元をしつかり見て生きていこう、そしていづれあちら側へ渡るとき、胸を張っていたいですよね。今回は、お彼岸の意と、お彼岸の意味合いのお話をさせていただきます。

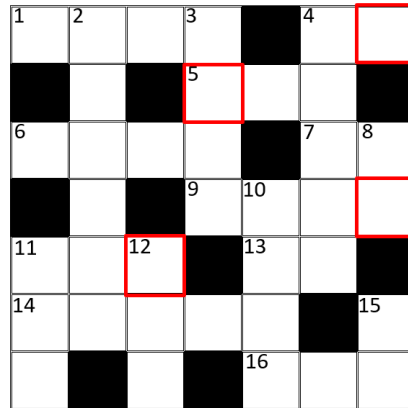
(秋のお彼岸の法話より)



## クロスワードパズルにチャレンジ!!

ヒントを元に、マスに言葉を当てはめてください！赤枠に入る文字を並べて出来る5文字の言葉はなんでしょう？

ヒント★冬の始まり



## 【たてのカギ】

- 1 贈り物として使われる商品券
- 2 別の物に、においが取り込まれること。
- 3 建築工事で、高所での作業を専門とする職人
- 4 国の最高権力者。君主
- 5 国や岩間からわき出る、清らかにすんだ水



## 【よのカギ】

- 1 戦争などで敵に捕らえられた人。捕虜
- 2 根性。強い意志。無理やりでもやりとげようとする心
- 3 仕事をすること。「○○○○員」
- 4 つばさを持ち、体が羽毛でおおわれている動物
- 5 火力の強い火。「○○○○で五分」
- 6 グループ。集団。集まっているもの
- 7 海水や地中からとれる白くて辛い物
- 8 かいつまんでまとめた要点
- 9 座席。席
- 10 動物の骨を包んでいるやわらかな物質
- 11 動物と植物の両方の特徴を持つ微生物
- 12 動物と植物の両方の特徴を持つ微生物
- 13 動物と植物の両方の特徴を持つ微生物
- 14 動物と植物の両方の特徴を持つ微生物
- 15 動物と植物の両方の特徴を持つ微生物
- 16 動物と植物の両方の特徴を持つ微生物



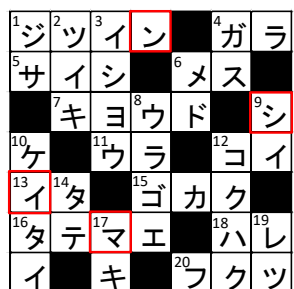
赤枠の5文字を並べて出来た言葉を記入して、下記宛先までご応募ください。

正解された方の中から抽選で景品をご用意しておりますのでお楽しみに！

【締切】令和7年12月末日(当日消印有効)

## 【第128号の答え】

たくさんのご応募ありがとうございました。第126号の答えは『シンマイ』でした。皆さんいかがでしたか？



## 【当選者の発表】

広島市 田公様 安芸郡 岡本様  
福山市 中島様 岡山市 池田様  
倉敷市 吉田様  
以上5名様、ご当選おめでとうございます。当選された方には、「岡山産のお米(きぬむすめ)」をお送りしました。

85

〒700-0942

岡山市南区豊成2丁目10番113号  
(宗) 円蔵院太陽の会  
岡山事務局  
クイズ係  
行

## ・クイズの答え

赤枠の文字を並べて出来た5文字の言葉を記入してお送りください。

・今回の良かった記事  
・掲載を希望する記事  
・ご意見ご感想  
〒 住所  
電話番号  
会員番号  
氏名 年齢